

都知事選

# 宇都宮けんじさん 大健闘

## 宇都宮さんが掲げた公約実現のため全力

### 志位和夫委員長が談話

コロナ危機から都民の命と暮らしをどう守るのが問われた都知事選が5日、投開票されました。PCR検査の抜本的強化、医療・介護・福祉施設への財政支援、保健所の体制強化を掲げた日本弁護士連合会元会長の宇都宮けんじ氏は大健闘しましたが及びませんでした。日本共産党の志位和夫委員長が都知事選についての談話を発表しましたので、以下にご紹介します。



一、宇都宮けんじさんは、勝利はできませんでしたが、大健闘されました。ご支持いただいた都民のみなさんに心からの感謝を申し上げます。勇気をもって出馬され、大健闘された宇都宮けんじさんに心からの敬意を申し上げます。

一、宇都宮けんじさんが掲げた都政改革の政策的訴え—検査と医療体制の抜本的拡充、徹底した補償によってコロナ災害から都民の命と暮らしを守り抜く、都立病院・公社病院の独立行政法人化を中止し拡充をはかる、カジノ誘致の中止などは、どれも多くの都民の切実な願いに答えて、今後の都政の進むべき方向を示した道理あるもの

と、確信します。宇都宮けんじさんが掲げた公約の実現のために、広範な都民の運動と手を携え、力を尽くします。

一、市民と野党の共闘が、都知事選を通じても発展したことは、今後につながる大きな成果です。立憲民主党、日本共産党、社民党、新社会党、緑の党の支援とともに、多くの文化人・知識人の方々にも支援の輪が日に日に広がり、すべての小選挙区単位で宇都宮選対がつくられ、力をあわせてたたかいぬくことができました。こうした共闘のたたかいのなかで連帯と信頼の絆が広がったことは、大きな財産です。

この共闘の流れを、来たるべき総選挙にむけて、さらに発展させていきたいと決意しています。



宇都宮さん(右から3人目)の健闘をねぎらう(左から)宮本、笠井、手塚、小池、福島の名氏=5日、東京都新宿区(写真提供「しんぶん赤旗」)

#### 都知事選開票結果

当	小池百合子	無所属 現	3,661,371 票
	<b>宇都宮健児</b>	<b>無所属 新</b>	<b>844,151 票</b>
	山本太郎	れいわ 新	657,277 票
	小野泰輔	無所属 新	612,530 票

(以下略)

東京  
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2020年7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。  
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

# 日本共産党